



この街で暮らす

道草

監督 穴戸大裕

みちくさ



たつたひとりの世界では、
自分は見えない。
道草をしながらふたりで
歩く散歩は、この世界とつな
がり、相手の瞳に自分を映し
出す時間。
こんな時間をすべての人が
持つことができたなら、わたし
たちはもつともつと優しくな
れるだろう。

瀬瀬あや(映画監督)

はみ出していく。 よし、はみ出していこう。

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとばしブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わりなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。

ひとはさびし、ふたりで歩く。
雨は降る、陽は輝く。人は泣き笑う。

<知的障害者の暮らしとは？>

知的障害がある人の暮らしの場は広がってきていますが「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親元で暮らしているのが実情です。

2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー付きのひとり暮らしが出来る可能性は大きく広がりました。

そんな中、16年夏には相模原障害者殺傷事件が起きました。この街で誰もがともにあるために、新しい選択肢を見つめてみませんか？



日時：2019年12月8日（日）会場：北星学園大学C棟

札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1

①バリアフリー上映※ 開場 12時30分 上映 13時00分～ @ 7階 C700教室

②ホール上映 開場 15時30分 上映 16時00分～ @ 1階 50周年記念ホール

入場料金：一般 1,000円 / 学生 500円（高校生まで無料） ※介助者1名まで無料

主催：映画「道草」SAPPORO上映会 実行委員会

協力：北星学園大学、NPO法人自立生活センターさっぽろ、DPI北海道ブロック会議、社会福祉法人はるにれの里、社会福祉法人あむ、医療法人稻生会

後援：札幌市、北海道、札幌市教育委員会、北海道教育委員会、北海道社会福祉協議会、北海道自閉症協会札幌分会 札幌ポプラ会、自閉症援助技術研究会、さっぽろ行動援護ネットワーク、DPI日本会議、全国自立生活センター協議会

※バリアフリー上映
声を出したり出入りも自由。
フラットな環境で車椅子の方も
ゆったり観覧可能です。
なお①②ともに字幕及び音声ガ
イド付きで上映いたします。

申込/お問合せ先：医療法人稲生会代表 011-685-2799 mail: toseikai@kjnet.onmicrosoft.com

当日直接お越しいただいても構いません